

2021年5月18日

各 位

国土交通省 令和3年度下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）

採択のお知らせ

株式会社 NJS

当社は、国土交通省による令和3年度下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）に他社と共同で応募し、下記のとおり採択されましたのでお知らせいたします。

記

1. B-DASH プロジェクトについて

国土交通省は、下水道事業が抱える様々な課題に対応可能な革新的技術の開発・活用を進めるため、実規模レベルの施設を設置して技術的な検証（実規模実証）を行い、ガイドライン化して革新的技術の全国展開を図っていくことを目的として、下水道革新的技術実証事業を平成23年度より実施しています。当該事業はBreakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Projectの頭文字をとって、「B-DASHプロジェクト」と称され、広く民間企業等に対して公募されます。

公募テーマは、下水道事業における低炭素・循環型社会の構築やライフサイクルコスト縮減、浸水対策、老朽化対策等と多岐にわたり、実規模レベルの施設を用いた実規模実証の他に、平成28年度からは、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を行うFS調査を実施しています。

2. 採択の経緯

当社は、令和3年度B-DASHプロジェクトの公募に対し、他社との連携・協力により提案を行い、学識経験者からなる第三者委員会の審査を経て採択に至りました。

本実証事業は、2018年度から二年間B-DASHプロジェクトでFS調査として実施した「AIによる下水処理場運転操作の自動化・省力化技術の実用化に関する調査事業」で導入効果や普及可能性が確認された技術を基にしています。今回は実規模レベルでの実証を国土技術政策総合研究所の委託研究として実施します。

表 当社が参画する令和3年度 B-DASH プロジェクト

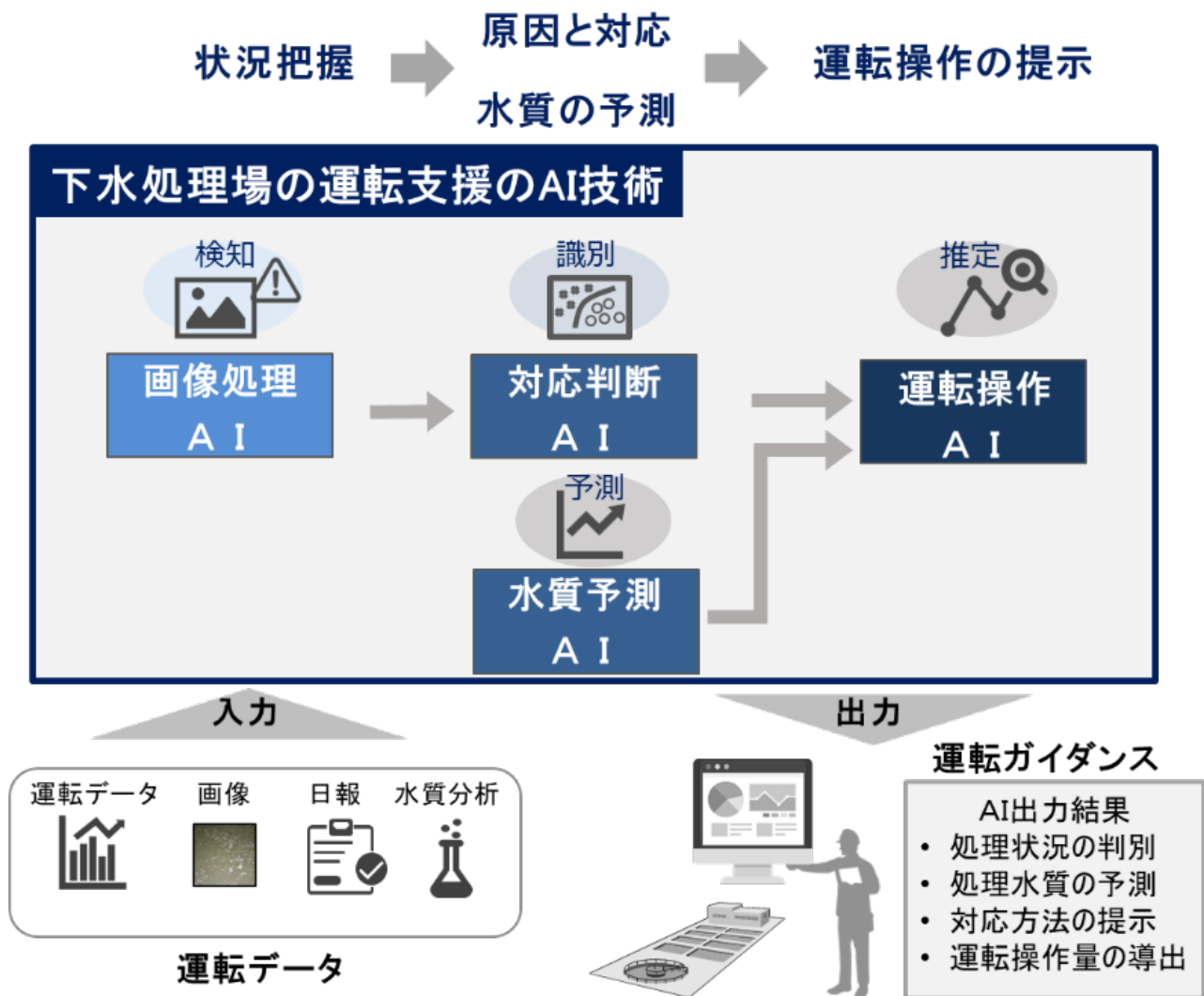
区分	名 称	提案者（共同）
実規模実証	AI を活用した下水処理場運転操作の先進的支援技術に関する実証事業	株式会社明電舎 株式会社 N J S 広島市 船橋市

令和3年度のB-DASHプロジェクト新規採択案件については[国土交通省のホームページ](#)でも公表されています。

3. 採択案件の概要

本技術は、操作履歴や水質分析、処理状況の画像などのデータからAIが処理状況を判断し、運転操作量の予測・対応方法および処理水質結果の予測をリアルタイムでガイダンスする先進的なものです。AIは処理状況に応じて、熟練技術者による運転操作と同様な判断を提示します。また、データを蓄積することで、より最適な運転操作を実現することを目指します。

本実証では、将来的な熟練技術者減少に伴う技術力不足への対応として、熟練技術者の判断根拠の見える化による技術継承、運転管理の最適化・効率化に向けた処理水質の安定化、維持管理コストの低減効果を示します。



共同提案者 株式会社明電舎 水インフラシステム WEB サイト

<https://www.meidensha.co.jp/products/water/index.html>

以上